

マナー向上と自転車施錠

田辺工業 生徒ら 田辺駅で街頭啓発

田辺署は21日、田辺市湊のJR紀伊田辺駅周辺で、駅を利用する高校生らにマナー向上や自転車の施錠を呼び掛ける街頭啓発をした。田辺工業高校の生徒らと協力し、啓発品を配布した。

県警の「きのくに・さわやかマナーアップキャンペーン」若者の規範意識の向上を目指し、県内の各警察署が地元の高中生らと協力して実施している。

この日は、田辺市あけぼの

の田辺工業高校から生徒6人が参加したほか、少年補導員や同署員、JR職員、田辺青年センターの職員ら計25人が参加した。

生徒らは田辺駅の改札前や駅舎入り口付近に立ち、電車内で大声で通話するといったマナー違反への注意を記したポケットティッシュ、自転車の施錠を呼び掛けるワイヤロック、歩きスマホへの注意を促すクリアファイルなどを電車の利用者一人一人に手渡し



自転車の施錠やマナー向上を呼び掛けるJR西日本の職員や田辺工業高校の生徒ら(21日、JR紀伊田辺駅前)

た。

田辺工業高校3年生で、自治委員会長を務める大西悠介君(18)は「マナーの悪さを注意できる心構えが大切だと思う。1年生の時に自転車を盗まれたことがあり、普段は施錠していたが、この時は鍵を掛けていなかった。みんなには普段から自転車の施錠をしてほしい」と話した。

田辺署によると、田辺駅前今年発生した自転車盗は8月末までで6件。昨年同時期比で12件減少しているが、6件全てが無施錠だった。昨年同時期の18件中無施錠は15件だった。

紀伊田辺駅の小山等駅長は「車内での座り込みは減ってきているように感じるが、歩きスマホのような今までにならぬマナーの悪さも増えてきている。他の人とぶつかったり、ホームに転落したりする恐れもあるので、歩きスマホには気を付けてほしい」と話している。